

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【道徳】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 1年間を3つのシーズンに分け、関連性の深い内容項目が有機的に結び付く教材を複数配置することで、生徒の成長や問題意識に寄り添いながら学びを深めることができる構成・配列の工夫が見られる。
- いじめ問題については、例えば「深めたいむ」において、日常に起こりがちな問題場面を取り上げることで、自己も他者も大切に生きることを考えさせ、情報モラルとも関連させるなど、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。また多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、全学年に「広げよう」を設け、一つの答えが出ない課題や、解決が難しい課題、生徒に考えてもらいたい現代的な課題を取り上げるなどの工夫が見られる。
- 巻頭に「道徳の授業を始めよう」、「どうやって学ぶの?」や「なぜ学ぶの?」を設け、学びを見通し、目的意識をもって授業に向かうことができるような工夫が見られる。また、「道徳の学びを振り返ろう」のページやポートフォリオ形式の「学びの記録」を巻末に設け、考えたことや感じたことを書き込ませていくことで、自ら考えを深めたり、成長を実感できる記録として活用したりできるなどの工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 家族愛をテーマとしたエッセイを教材として取り上げることで、家庭の役割や家族の一員としての自分の役割を考えることができるなど、自分と家族についての考えが深められるような工夫が見られる。
- 様々な地域や伝統文化に触れる教材を取り上げることで、多様な価値観に触れながら、地域の伝統文化のよさを大切にすることを育むことができるような工夫が見られる。
- 巻末にある、郷土玩具や世界遺産、偉人に関する資料を活用することにより、地域のよさに興味をもたせ、郷土の伝統文化に対する考えを深めることができるような工夫が見られる。

日向市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。